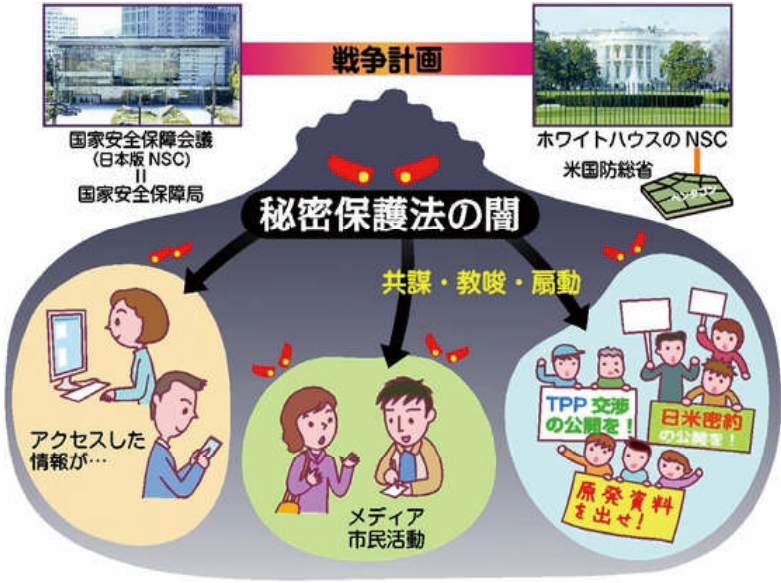


国民の目・耳・口ふさぐ これが秘密保護法案



『週刊現代』『FRIDAY』『女性セブン』『SAPIO』『創』『金曜日』
編集長ら120人立つ

「出版活動に携わる私たちは、『言論・出版・表現の自由』を根底から危うくするこのような法律の制定に強く反対する」。秘密保護法にたいする反対の世論が日増しに高まっています。編集者やライターらでつくる「憲法と表現の自由を考える出版人懇談会」（出版人の会）は11月19日、東京都内で「特定秘密保護法案に反対するアピール」を発表しました。アピールは、「取材活動が厳罰の対象になる可能性は排除されていない。『出版又は報道の業務』以外の個人やネット、市民活動などの『知る権利』については全く配慮されていない」などと指摘しています。（20日付「しんぶん赤旗」）

岸和田市長選挙は、日本共産党も加わる「岸和田民主市政の会」が自主的に支援する前市議会議長の信貴芳則候補と「維新」衆院議員前秘書の原田栄夫候補との一騎打ちの選挙で、せめぎ合いが激しさをまします。「岸和田民主市政の会」は、信貴氏が「岸和田のことは岸和田で決める」と明確に反「維新」の立場にたち、信貴氏の政策を紹介。暮らし福祉・中小企業を切り捨ててきた大阪府・市の「維新政治」

24日投票
岸和田市長選挙

維新隠し、を許さない、「維新政治」持ち込みノーマン
信貴候補で希望の街に

の事態を話しながら、信貴氏の勝利で「生きる希望ふくらむ岸和田へ」市政を進ませようと宣伝・対話に全力をあげています。原田候補は、告示前から「維新とは関係ない。保守系無所属だ」と「維新」隠しに躍起。しかし原田氏は「維新」秘書の経歴に加え、政策も「あらゆる公的サービスの民営化」など「維新政治」そのもの。「維新」議員が続々と応援に入り、「維新」のみであることは隠しようがありません。

小川ゆうじの
「しんぶん赤旗」
読者だより

小川吉開 検索

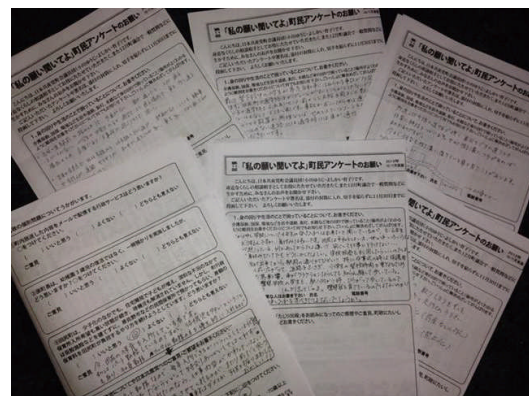
田尻町支部党活動募金
1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時～正午
465-9939

12月の弁護士相談は
13日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要

(部内資料)

田尻町議会 12月定例会は5日に議員の一般質問



20日に議会運営委員会が開かれ、12月定例町議会は、5日に議員の一般質問が行われることになりました。一般質問は27日までに行わなければならない。この間いただいたアンケート返信には、ご要望・ご意見がびっしり、よく読んで質問を考えます。

34通のアンケート返信に感謝
みなさんの声を生かして質問を考えます

全国町村長大会 道州制反対を決議

全国町村長大会 原明美田尻町長も参加した全国町村長大会（会長 藤原忠彦 長野県川上村長）は20日、都内で全国町村長大会を開き、「地方分権に名を借りた新たな集権体制を生み出す」として道州制基本法案の国会提出と道州制導入に断固反対の特別決議を採択しました。決議は「大都市圏への集中を招き、地域間格差はいっそう拡大する。道州と住民の距離が遠くなり、住民自治が埋没する」と批判。「国土の多様な姿に見合った多彩な町村が存在することが国の活力の源泉であり、地方自治の本来の姿」と強調しています。また、介護保険制度改悪の要支援は「しんぶん赤旗」については、サービスに格差が生じないよう国が責任を果たすことを要望。特別養護老人ホームから閉め出される要介護2以下の利用者について、在宅介護が困難な碑値もいるため受け皿を確保するよう主張しています。（21日付「しんぶん赤旗」）